



2025

環境活動報告書 Environmental Activity Report

アルプス薬品工業株式会社

トップメッセージ

次世代のために 私たちが果たすべき責任と役割

アルプス薬品工業は、モノづくりへの情熱と技術力、そして独自の企業風土を原動力に、グローバルに貢献する企業を目指しています。医薬品原料の製造においては、廃棄物削減やリサイクル、省資源・省エネルギー活動、太陽光エネルギーの活用、水資源の有効活用、水質・大気汚染の抑制等を通じて環境負荷の低減に取り組み、持続可能な生産体制を構築しています。

また、環境関連法規制の順守と地域社会との対話を重視し、SDGsやカーボンニュートラルの理念に基づいた環境保全を経営の重要課題と位置づけ、持続可能な社会の実現に貢献しています。

さらに、倫理・労働慣行・人権に関するリスクにも真摯に向き合い、EcoVadisの国際基準に基づくサステナビリティ評価を通じて、持続可能な資材調達と透明性の高い管理体制の構築に努めています。

従業員の健康と安全にも配慮し、「健康経営優良法人 2025（ホワイト 500）」に昨年に続き認定されるなど、健全な職場環境づくりにも積極的に取り組んでいます。



代表取締役社長 岡田 武司

企業理念

Mission

医薬品メーカーとしての自覚と誇りを持ち、
最良の技術で、お客様にとって
最高の製品を提供し、世界に貢献する。

Vision

世界に誇れるALPS独自の価値を創造する。

Value

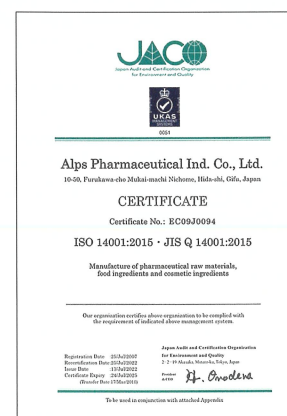
1. 常に向上を目指し、自律的に行動する
2. 社会の視点・お客様の視点を大切にする
3. 現場・現物・現実にもとづき、本質を見極める
4. 失敗や変化を恐れず、チャレンジする
5. 議論とチームワークを大切にする
6. コンプライアンス、安全操業を徹底する
7. 従業員の成長を促し、幸福度を高める
8. 会社の成長を通じて、地域社会に貢献する

環境方針

アルプス薬品工業では、処方改良による環境負荷化学物質の削減や、原料の枯渇を防ぐための自社栽培等、環境影響の継続的改善と環境汚染の予防に取り組んでいます。

1. アルプス薬品工業株式会社は、医薬品メーカーとして最良の技術で最高の製品を生産し、お客様に提供するため、環境影響に十分配慮し、継続的な環境負荷削減に努力いたします。
2. 国内外の環境に関わる法令及び当社が受入れた要求事項を順守し、事業活動を行います。
3. 環境保護のため、自主的な各種活動を継続して実施します。
4. 事業活動において生産性の向上を行い、廃棄物の発生の低減、リサイクル化、省資源、省エネルギーの推進を行い、環境負荷の低減を図ります。
5. 環境リスクアセスメントにて環境リスクを把握し、環境管理の継続的な計画・実施・改善など、環境リスクマネジメントシステムの運用を通じて、環境リスクの低減活動を継続的に行います。
6. 生物多様性及び生態系の保護のため、自主的に各種活動を継続して実施します。
7. 地域社会との対話を図り、環境情報を適切に開示し、社会とのコミュニケーションを図ります。
8. 環境に関する教育訓練を充実し、自ら環境影響を考え行動する従業員を育成します。
9. 環境方針は、当社の全社員及び協力会社にも周知徹底し、社外へも公開します。

ISO14001 認証



- | | |
|-------------|---------------------------------|
| 1999 年 11 月 | 上野工場、富山工場 ISO14001 認証取得 |
| 2001 年 7 月 | 本社工場 ISO14001 認証取得 |
| 2004 年 7 月 | SGS社による更新審査 |
| 2007 年 6 月 | SGS社による更新審査 |
| 2010 年 6 月 | JACO社による更新審査 |
| 2013 年 5 月 | JACO社による更新審査(東京営業所、大阪営業所も審査対象へ) |
| 2016 年 6 月 | JACO社による更新審査 |
| 2018 年 6 月 | JACO社による 2015 年度版移行・認証取得 |
| 2019 年 6 月 | JACO社による更新審査 |
| 2022 年 6 月 | JACO社による更新審査 |
| 2025 年 6 月 | JACO社による更新審査 |

環境への取り組み 2024 年度実績

分類	2024年度の主な活動成果
省エネルギー省資源	・CO ₂ 削減に向けたロードマップの構築 ・省エネ空調機器の導入と電灯のLED化 ・富山工場製造プロセス用ボイラーを高効率タイプに更新 ・CO ₂ フリー電力の調達 ・再生可能エネルギーの太陽光発電設備の導入準備
化学物質管理	・作業環境測定の実施、化学物質管理体制の構築(化学物質・保護具) ・工場内ピット点検実施と、専門業者によるピット清掃・点検実施
事故緊急時対応	・災害、事故を想定した防災訓練、漏洩訓練の実施 ・自衛消防隊による緊急事態対応訓練(休日・夜間含む)の実施
環境リスクアセスメント	・製造工程で発生する臭気・粉塵の抑制対策検討と改善実施 ・騒音、臭気の定期測定と監視 ・排水監視の強化
廃棄物管理	・廃棄物搬出の適正化とリサイクル化の推進
環境コミュニケーション	・工場見学の実施。(1回/年) 上野工場 ・工場周辺の側溝清掃への参加 ・市内行事への協賛

環境実績・定期測定

◆ エネルギー使用量(2024 年度実績) 単位:MWh

項目	全社
ガソリン	70
灯油	65
軽油	132
A重油	11,241
LPG	30,751
電気	11,153
合 計	53,412

※全拠点総量(製造拠点3ヶ所・営業所2ヶ所)

◆ 取水量実績値(2024 年度実績) 単位:(千m³/年)

項目	全社
水道水/工業用水	146
地下水(井戸水)	519
河川水(冷却用)	284
合 計	950

※製造拠点3ヶ所

◆ 廃棄物・リサイクル物発生量 2024 年度実績(全社) 単位:(t/年)

有害項目 \ 項目	廃棄物	回収再利用廃棄物	リサイクル物(有価含む)
有害廃棄物	152	0	744
非有害廃棄物	2,659	5,592	0
総廃棄物量	8,403		※製造拠点3ヶ所

◆ 温室効果ガス排出量(2024 年度実績) 単位:t-CO₂

スコープ1	スコープ2	総排出量
9,546	4,717	14,263

※全拠点総量(製造拠点3ヶ所・営業所2ヶ所)

スコープ1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出量
(ガソリン・灯油・軽油・A重油・LPG)

スコープ2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う
間接排出量(電気)

◆ 排水量実績値(2024 年度実績) 単位:(千m³/年)

項目	全社
排水量(下水道)	5
排水量(河川)	688

※製造拠点3ヶ所

定期測定・法規制対応(測定結果等)

◆ 水質汚濁防止法 / 排水測定結果

2024年度 工場排水測定結果 規制値の()内数値は日間平均値

各工場		本社工場		上野工場		富山工場	
項目	単位	規制値	平均値	規制値	平均値	規制値	平均値
pH		5.8～8.6	6.9	5.8～8.6	7.5	6.0～8.0	7.4
BOD	mg/L	≤25(≤20)	2.7	≤25(≤20)	4.8	≤20	1未満
COD	mg/L	≤160(≤120)	13.0	≤160(≤120)	15.6	≤160(≤120)	14.0
SS	mg/L	≤90(≤70)	4.85	≤90(≤70)	5.05	≤40	9.0
nヘキサン	mg/L	≤5	<1	≤5	<1	≤5	<0.5
フェノール類	mg/L	≤0.5	<0.01	≤0.5	<0.01	-	
ジクロロメタン	mg/L	≤0.2	<0.1	≤0.2	<0.1	-	
分析頻度		2回/月		2回/月		1回/月	

本社工場、上野工場では月2回、富山工場では月1回排水の水質検査を実施し、適切な工場排水の確保に努めています。
各工場ともに測定結果は規制値以下です。

◆ 大気汚染防止法 / ばい煙発生施設の測定結果

2024年度 ばい煙測定結果

本社工場 測定結果(測定日 前期:2024年6月11日、後期:2024年12月10日)

対象 (還流ボイラー)	測定項目	煤塵	SO _x K値	NO _x	判定
	単位	g/m ³	-	V/Vppm	
	規制値	≤0.3	≤17.5	≤180	
H18-200	前期・後期平均	0.021	0.29	66.5	適合
H18-300	前期・後期平均	0.020	0.32	67.0	適合
H18-400	前期・後期平均	0.021	0.30	74.0	適合
H18-500	前期・後期平均	0.024	0.33	78.5	適合
H18-600	前期・後期平均	0.017	0.30	90.5	適合
H18-700	前期・後期平均	0.017	0.27	80.0	適合

※燃料 LSA重油

上野工場 測定結果 (測定日 前期:2024年6月12日、後期:2024年12月11日)

対象	測定項目	煤塵	SO _x K値	NO _x	HCl	判定
	単位	g/m ³	-	V/Vppm	mg/m ³	
	規制値	≤0.25	≤17.5以下	≤250	≤700	
廃液焼却炉 (K-B)	前期	0.140	0.01未満	200	3.6	適合
	後期	0.009	0.01未満	120	2.8	

法規制対応(測定結果等)

2024 年度 廃液焼却施設 排ガス水銀濃度の測定結果 (測定日 前期:2024年6月12日、後期:2024年12月11日)

対象	測定項目	ガス状水銀濃度	粒子状水銀濃度	水銀濃度	判定
	単位	μg/m³	μg/m³	μg/m³	
	規制値	-	-	≤50	
廃液焼却炉 (K-B)	前期	0.007	0.0014	0.0009	適合
	後期	0.005	0.0004	0.0050	

2024 年度 廃液焼却施設 ダイオキシン濃度測定結果 (測定日 2024年6月12日)

対象	測定項目	排ガス	燃え殻	処理水	判定
	単位	ng-TEQ/m³N	ng-TEQ/g	ng-TEQ/g	
	規制値	≤5	≤3	≤10	
廃液焼却炉 (K-B)	実測値	0.2	0	0.00047	適合

環境への取り組み(1) 防塵・臭気対策

臭気対策

2024年度には、乾燥工程で使用している流動層乾燥機への濃度モニタリング装置を利用した緊急遮断装置を設置し運用を開始しております。2025年度は、SD乾燥機の異常による微粉が大気へ放出される汚染リスクを軽減する為、スクラバーの導入を決定しています。また工場内・敷地境界線に臭気測定ポイントを設定し、週1回の頻度で自主測定及び臭気パトロールを実施しています。その他環境委員会による自主測定・パトロールも1回/月実施し臭気対策に活用しています。



環境への取り組み(2) エネルギー対策

LED 照明への更新

工場内の照明を2024年度から2027年度にかけて順次交換を行う計画で実施しています。全て更新しますと、約106MW/年の削減効果が期待できる見込みとなっており、2024年度までに全体の約40%の照明機器をLEDタイプ照明に更新しました。約40t-CO2/年の削減につながりました。



環境への取り組み(2) エネルギー対策

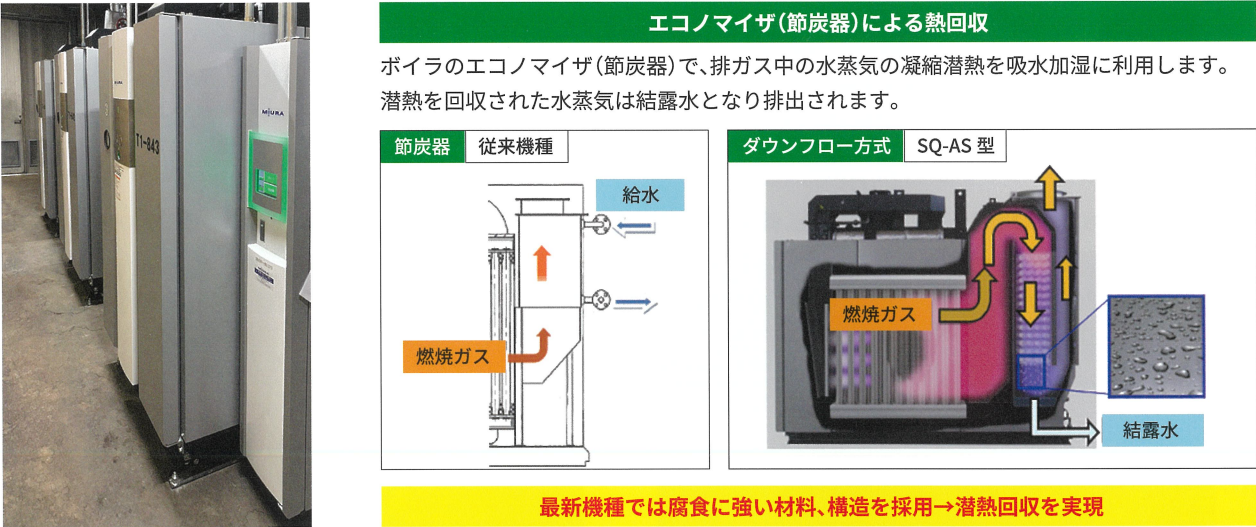
再生可能エネルギー設備の導入

生産拠点の富山工場において、生産工場屋上に太陽光発電パネルを導入いたしました。2025年10月より運用を開始しており、太陽光パネル容量は175kW/h、年間発電量は150～160MW/年を見込んでいます。この発電量は富山工場の年間消費電力の約10%以上となります。これによりCO2排出量としても、約68t-CO2/年の削減を見込んでいます。クリーンエネルギーによる環境負荷を低減した製品の製造を目指して今後も他生産拠点への導入を検討していきます。



製造プロセス用蒸気ボイラーの更新

生産拠点の富山工場において製造プロセスで熱源として利用している還流ボイラー3基を2025年1月に高効率のボイラーに更新致しました。従来のボイラーよりもエコノマイザ(燃焼排ガスの熱を回収する装置)の能力が高いタイプを採用しており、使用燃料の削減が可能になりました。更新効果として従来ボイラー比で約4.7%のLPG燃料の削減され、約88t-CO2/年の削減につながりました。



社内啓蒙活動

当社では、環境委員会の活動として毎月、省エネパトロールを実施しています。エネルギー消費量が多い生産工場において、省エネチェックリストにより、工場内のエネルギーロスの発見及びロス量を数値化して工場にフィードバックしています。またエネルギー効率を高める事ができそうな個所について改善の提案を行う体制としています。その他に環境に関する取り組みに興味を持ってもらう為に、環境だよりを発行し啓蒙活動に取り組んでいます。



環境への取り組み(3) 資源保護活動

原料調達において「購買取引基本方針」を制定し、サステナブルな原料調達の実現を目指すとともに飛騨を始めとする各地で栽培事業に取り組んできました。

◆ トウガラシ栽培（栽培地：岐阜県）

当社は長年にわたり、トウガラシから辛味成分(カプサイシン)を抽出・精製した100%天然由来製品「商品名:カプサイシン」を製造し、世界トップシェアを誇っています。この製品は関節痛鎮痛剤の有効成分(API)として世界各地で広く活用されています。これまではトウガラシを海外から輸入していましたが、持続可能性を重視し、飛騨地域での栽培・調達へと切り替えました。

栽培については、地元の農家さんに栽培をお願いし収穫時に買い取る形を取っています。これにより、輸送時のCO₂排出量やエネルギー消費の削減だけでなく、地域の雇用創出や農業振興といった地域活性化にも寄与しています。2023年からはより辛味成分を多く含む品種へ変更したことにより、製造工程が効率化され、省エネルギー化、温室効果ガスや産業廃棄物の排出量減少など、環境負荷の軽減につながっています。今後も品質向上と環境配慮の両立を追求し続けます。



◆ 甘草栽培（中国 内モンゴル自治区）

当社は、長年にわたり甘草を原料として抽出・精製し、100%天然由来の製品「商品名:グリチルリチン酸、グリチルレチン酸など」を製造販売しており、医薬品・化粧品成分市場では、国内トップクラスのシェアを誇っています。従来、当社は野生甘草を原料として製造をしておりましたが、野生甘草の乱獲により原料枯渇や現地生息地では砂漠化になるなど環境問題を多く抱えていることから、環境保護の観点と当社での安定的な原料確保を考慮し、2013年より甘草栽培事業を始めました。甘草栽培において使用する農薬を限定し、環境への影響を最小限に抑えるため、現地生産者との取り決めを定めており、環境を配慮した甘草の栽培から製品までの一貫した製造を通じて、トレーサビリティの確立された安全で品質の高い製品を提供し続けることを目指しています。



環境への取り組み(4) 土壌汚染対策・廃棄物管理

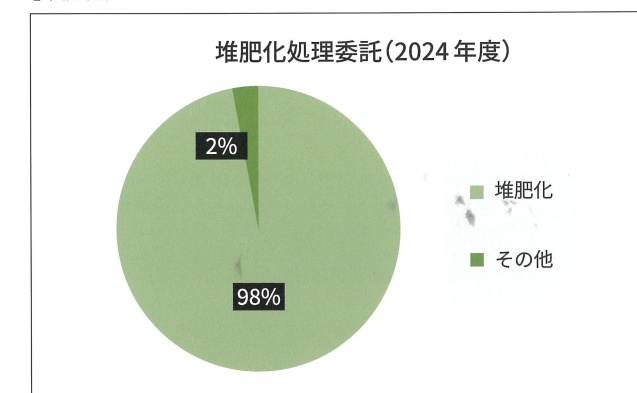
◆ 廃棄物再利用

当社では生産活動において副産物として発生する廃棄物の有効利用に取り組んでいます。当社の廃棄物発生率の多くを占める動植物性残渣については、発生量の約98%を堆肥化し再利用しています。

【堆肥業者様 加工品】



【堆肥化処理データ 2024年実績】



その他、使用済みの有機溶媒については蒸留業者、石灰業者様に燃料として売却実施。ダンボール・古紙・金属についてもリサイクル業者様へ処理をお願いしています。

◆ 土壌汚染予防活動（工場排水ピットの清掃）

各工場に設置している廃液ピットは1回/2ヶ月の頻度で簡易自主点検を実施しております。廃液ピット内は定期的に専門業者による清掃を実施する事で、悪臭の防止やピット内部の異常の早期発見に努めています。2024年度は21ヶ所の地上・地下ピットの清掃・点検を実施しました。

【清掃中】



【清掃後Pピット内部】



環境への取り組み(5) 騒音監視・騒音対策

◆騒音対策活動

各工場の敷地境界線において自主騒音測定を1回/6ヶ月の頻度にて実施しています。その他として、本社・上野工場は1回/週の頻度で自主測定も実施しています。また、本社工場は住宅地域と隣接している事を考慮し、連続測定を実施しております。2024年度中において、全工場・工場稼働における騒音の苦情はありませんでした。

本社工場測定結果(敷地境界線での測定値の最大値) (単位: dB)

測定区分	6:00～8:00	8:00～19:00	19:00～23:00	23:00～6:00
法規制値	≤60	≤65	≤60	≤50
敷地境界線 7ヶ所	48.7	53.6	49.5	49.8

上野工場測定結果(敷地境界線での測定値の最大値) (単位: dB)

測定区分	6:00～8:00	8:00～19:00	19:00～23:00	23:00～6:00
法規制値	≤60	≤65	≤60	≤50(≤55※)
敷地境界線 4ヶ所	53.8	55.1	50.4	49.3

※幹線道路沿いの緩和基準

富山工場測定結果(敷地境界線での測定値の最大値) (単位: dB)

測定区分	6:00～8:00	8:00～19:00	19:00～23:00	23:00～6:00
法規制値	≤65	≤70	≤65	≤63
敷地境界線 5ヶ所	57.4	57.4	60.2	57.1

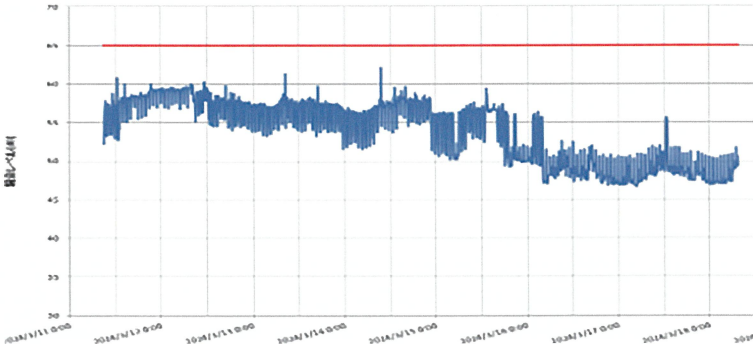
1 騒音の連続測定装置の設置

本社工場の2ヶ所において敷地境界線付近に連続式騒音測定器を設置しデータ取得。

【騒音測定装置】



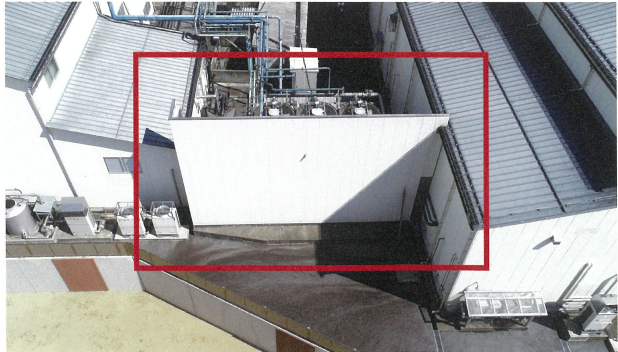
【騒音測定データ】



2 遮音対策

本社工場の冷却水設備の空冷ファンを音源とした騒音に対して防音を目的とした遮音壁(写真赤枠部分)を設置しています。

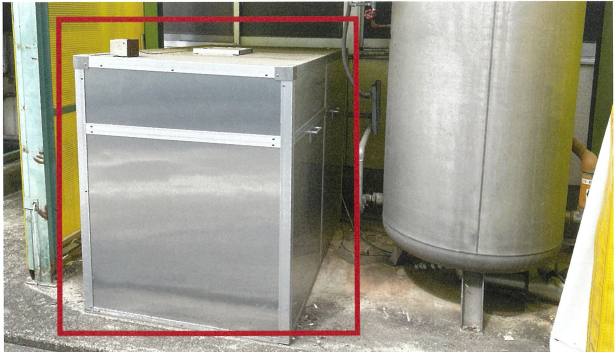
【遮音壁】



3 防音対策

屋外設置の圧縮空気発生装置から発生する音源対策として防音カバー(写真赤枠部分)を設置しました。

【防音カバー】



EcoVadis (エコバディス) 評価・訓練関係・地域貢献

◆EcoVadis (エコバディス) 評価

EcoVadis(エコバディス)は、2007年にフランスで創立し、17年にわたり、世界180を超える国と地域で、13万社以上のサステナビリティ評価を行っているグローバル企業です。評価対象企業は、「環境」「労働と人権」「倫理」「持続可能な資材調達」のテーマと、「方針」「実施対策」「結果」のマトリクスで評価されます。スコアカードには、0から100のスコアと、それに応じたメダル(ブロンズ、シルバー、ゴールド、プラチナ等)が記載され、併せて強みと改善点に関するガイダンスが示されており、評価を受けた企業は、是正措置計画を策定してサステナビリティへの取り組みを改善することができます。

2024年度は「ブロンズ」評価獲得いたしました。毎年度スコアは向上しておりますが相対評価制度となっており2024年度ブロンズ評価となっています。

年	2021年	2022年	2023年	2024年
評価				
総合得点	52点	53点	60点	63点

◆各主訓練活動(漏洩訓練・防災訓練)

当社では毎年、漏洩訓練・総合防災訓練等の緊急時の対応訓練を事業所毎に実施しています。

【総合防災訓練】



【自営消防隊による消火訓練】



◆地域貢献(工場隣接区域の清掃活動)

当社では2回/年の頻度で地域の清掃活動に参加しています。

【本社工場周辺側溝の清掃】





アルプス薬品工業株式会社
<https://www.alps-pharm.co.jp/>